

5 教育・文化分野

政策 5-1 学校教育・教育環境の充実

施策 5-1-1 確かな学力の育成

(1) 住民意識調査結果

関連項目	満足度	順位	優先度	順位
基礎学力の向上	-6.0%	24位/全36項目中	72.3%	8位/全36項目中

(2) 地域経営計画書（後期計画）指標

(基礎的な知識の定着)		
指標	基準値	目標値
学習内容定着度調査の全国平均点との比較（小4）	小学4年時の全国平均点との比較値	中学3年時（平成27年度）の全国平均点との比較値 +2.5点
学習内容定着度調査の全国平均点との比較（小5）	小学5年時の全国平均点との比較値	中学3年時（平成26年度）の全国平均点との比較値 +2.0点
学習内容定着度調査の全国平均点との比較（小6）	小学6年時の全国平均点との比較値	中学3年時（平成25年度）の全国平均点との比較値 +1.5点
学習内容定着度調査の全国平均点との比較（中1）	中学1年時の全国平均点との比較値	中学3年時（平成24年度）の全国平均点との比較値 +1.0点

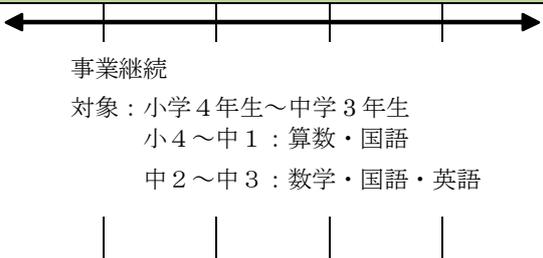
<前期5カ年計画の検証を踏まえた施策展開>

- 過去5年間の学習内容定着度調査の結果が蓄積されたことにより、学年ごとの課題や成果を追跡することが可能になり、その結果を分析し学習指導に還元してきた結果、ばらつきはあるものの、定着度は年々高くなってきています。この5年間の蓄積をさらに活かし、各学年・学校や個人の課題を明らかにし、学校と具体的な指導方法を協議し児童生徒に活かすことにより、さらに児童生徒への定着度を高めていきます。
- 本町の特徴として定着してきている外国語活動を今後も継続し、充実した活動ができるよう外国語指導助手（ALT）の派遣を継続するとともに、ALTの活用方法についても再検討しながら外国語活動のさらなる充実を図ります。
- インターネットやデジタル機材を用いたパソコンを活用し各種授業を実施していくには、現在のパソコンでは支障をきたすため、順次パソコンを整備し、情報教育の充実に努めます。
- 平成23年度から上高根沢小学校で、少人数の学級で個に応じた指導や体験活動を通して、生きる力を育むために小規模特認校制度を始めます。その活動の特色として、①外国語（英語）活動の充実、②人とのふれあいを通じた体験交流活動、③体力づくりと食育の充実など魅力ある学校づくりを進めます。

<指標に関する特記事項>

○指標は、基準値を平成 23 年度の全国平均、目標値を中学 3 年時に設定していますが、毎年の比較が可能です。同一母体を小学校 4 年時から順を追って比較することができるため、毎年学年平均 0.5 点プラスになるように目標を設定しています。

(3) 施策を達成するための主な事務事業

(基礎的な知識の定着)						
事務事業名						
	取組概要	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
○学習内容定着度調査事業						
	・児童生徒一人ひとりにあった「確かな学力」を身につけさせるために、継続的に学習内容の定着度を調査し、その結果を基に、現状の把握・学習指導方法の研究を行います。					
○ALT事業						
	・小中学校に、民間派遣業者による「ALT (外国語指導助手)」を配置して、英語教育・国際理解教育の充実を図ります。					
○小中学校パソコン整備事業						
	・小中学校の老朽化したパソコンを整備 (更新) して、情報教育の充実を図ります。	